

4 歳児 I 期（4 月～5 月）

ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ、保育者との関わりを基盤に、自分の思いを表しながら遊んだり生活したりする。 ・気の合う友達や保育者と自分のやりたい遊びを楽しむ。 ・新しい環境での生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分なりにやってみようとする。
		進級児
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や周囲の子供の動きに興味をもちやってみようとする。 ・自分から新しい環境に関わり、気に入った遊びを見つけて楽しむ。 ・花びら、葉、虫など身近な自然を遊びの中に取り入れて遊ぶ。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや感じたことを言葉で表し、伝えようとする。 ・保育者や仲のよい友達と挨拶をする。 ・保育者が読んでくれた絵本に興味をもつ。
	創造	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたままに表したり、何かのつもりになって遊んだりする。
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達と同じ遊びを楽しむ。 ・クラスの人々と一緒に遊んだり過ごしたりすることを楽しいと感じる。
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達に親しみをもって遊んだり生活したりする。 ・困ったときなどに自分から保育者に伝える。
	規範	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と楽しく遊ぶためにはルールがあることを知る。
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいクラスでの生活の仕方を知る。 ・危険な物や場所を知り、安全に気を付ける。 ・できることは自分なりにやってみる。
	運動	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳時に経験した遊びで体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・友達や保育者の動きを見て、同じように体を動かそうとする。
		新入児
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が安定できる場や遊具で遊ぶことを楽しむ。 ・気に入った遊びを見つけて楽しむ。 ・花びら、葉、虫など身近な自然を遊びの中に取り入れて遊ぶ。
		<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに必要な言葉があることに気付き、使ってみる。 ・自分の思ったことを言葉で表す。 ・保育者が読んでくれた絵本に興味をもつ。
		<ul style="list-style-type: none"> ・友達の動きをまねたり、自分と同じような動きに関心をもったりする。
		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの人々などということを楽しいと感じ、安心して過ごす。
		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に親しみをもち、安心して関われる存在であることを感じる。 ・思ったことや感じたことを表情、態度、言葉などで自分なりに表現する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に必要なきまりがあることや、「ありがとう」「ごめんね」など友達との関わりに必要な言葉があることを知る。
		<ul style="list-style-type: none"> ・園での過ごし方を知る。 ・危険な物や場所を知る。 ・できることは自分なりにやってみる。 ・園での食事の仕方を知り、楽しく食べる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・友達や保育者の動きをまねたり、自分なりの動きを楽しんだりする。 ・戸外に出て歩いたり走ったりしながら体を動かして遊ぶことを楽しいと感じる。

指導例

◇ 面白そうだな、やってみたいな

それぞれがやりたいことを見つけて安心して遊ぶ。

ダンゴムシ見つけた

容易に見つけたら捕まえたりできるダンゴムシは、虫に初めて出会う子供でも親しみやすい。時には世話をすることなどを通して、命の大切さに気付くきっかけにする。

<援助のポイント>

- ・進級児はできるだけ自分で行動できるような分かりやすい環境を構成し、進級した喜びが味わえるようにする。新入児は、みんなで一緒に生活することを楽しめるようにする。
- ・それぞれの子供のペースを大切に、新しい環境に慣れていくようにする。
- ・新しい保育者や友達に親しみを感じられるような言葉を掛け、安心して過ごせるようにする。
- ・友達と同じ場で過ごしたり関わりをもったりできるように、遊びの場を設定したり遊具の数を十分に用意したりする。

<家庭との連携>

- ・進級や入園による喜びや不安に対して、共感したり励ましたりしながら、一緒に子供を支えていけるようにする。
- ・4歳児は友達との関わりが増えるので、トラブルや友達関係などの不安なことは、担任をはじめ園の職員にいつでも相談できることを伝え、1年間の成長を共に見守っていけるような関係づくりに努める。
- ・園での様子を伝えたり家庭での様子を聞いたりしながら、保護者との信頼関係を築いたり深めたりしていく。

4 歳児 Ⅱ期（6月～9月上旬）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な素材に触れ、取り入れて遊ぶようとする。 ・気の合う友達と互いの思いを出して遊ぶことを楽しむ。 ・クラスの活動で自分なりに動いたり同じ動きをしたりすることを楽しむ。 	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な虫や小動物などに触れたり、園庭の草花や栽培している植物に興味をもって、生長を楽しみにしたり収穫することを喜んだりする。 ・砂や泥、水などの自然物に触れて感触を楽しみながら遊ぶ。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・＜新＞保育者の仲立ちによって、思ったことや困ったことを言葉で相手に伝えようとする。 ・自分の思いや困ったことを保育者や友達に伝えようとする。 ・絵本の読み聞かせを楽しんで聞く。 ・歌や絵本、リズムのある言葉に関心をもち、一緒に口ずさむことを楽しむ。
	創造	<ul style="list-style-type: none"> ・＜新＞身近な素材を使って作ることや、作ったものを使って遊ぶことの楽しさを感じる。 ・身近な素材を使い遊びに必要なものやイメージしたものを作る楽しさを感じる。 ・新しい素材や材料に興味をもって関わり、必要なものを使ったり作ったりして遊ぶ。
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで取り組む遊びや活動に喜んで参加し、友達に親しみをもつ。 ・友達と同じものを身に付けたり、一緒に動いたりする楽しさを感じる。
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> ・＜新＞思い通りにならないことがあるときに保育者に思いを受け止めてもらい、我慢したり気持ちを切り替えたりする。 ・受け入れてくれる友達に自分の思いや感じたことを伝えようとする。 ・友達の言葉や動きに気付き、自分なりに応じていく。
	規範	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に過ごすための約束やきまりを知り、守ろうとする。 ・集団行動の約束や保育者の指示を聞き、動こうとする。 ・ルールを守ると楽しく遊べるのが分かる。
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・＜新＞園生活の流れが分かり、自分から動く。 ・天候に合った生活の仕方を知り、自分で行おうとする。 ・＜新＞園外に出たときの行動の仕方を知る。 ・夏野菜の収穫を通して、みんなで一緒に食べる楽しさや食べられたうれしさを感じる。
	運動	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に、音楽に合わせて踊ったり体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ。 ・プール遊びを通して、水の中での動きを楽しみ、開放感を味わう。

※＜新＞は、新入児に特に配慮する内容を表す

＜指導例＞

◇ フルーツバスケットは楽しいな

みんなで唱和したり一緒に動いたりする楽しさを感じる。

作るのって楽しいね

細い色紙をはさみで切ってカップに入れる（ジュース）、丸い台紙にのりで貼る（ピザ）など、子供にとって身近なイメージを取り入れた製作活動を通して、のりやはさみの使い方を知らせる。

＜援助のポイント＞

- ・友達とのつながりができてくるので、思いを表したり伝えたりすることを楽しめるように、いろいろな友達の姿を伝えたり、思いが伝わり合うように言葉を補ったりしていく。
- ・いろいろな素材や用具に触れられる機会を設け、扱い方を知ったり遊びに取り入れたりしていく楽しさを味わえるようにする。
- ・プール遊びの約束、着替えや水着の始末の仕方などを分かりやすいように工夫して伝え、プール遊びに期待をもち、楽しく取り組めるようにする。

＜家庭との連携＞

- ・遊びや友達同士の関わり方など、様々な様子が見られる時期である。言葉の使い方や思いの表し方などの実態や、相手への関わり方に気付いていけるように保育者が援助していることをクラスだよりなどで知らせ、家庭への理解を図るとともに、一緒に成長を見守っていけるように連携を図る。
- ・大人が先に指示をしたりせず、子供が自分で行おうとしている気持ちを尊重し、温かく見守っていくことが自信や意欲につながっていくことを知らせる。

4 歳児 Ⅲ期（9月中旬～10月）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 身近な出来事に関わり、驚き、気付き、発見などを通して、様々なことに興味や関心を広げる。 友達との関わりを楽しみながら自分の動きや思いを出して遊ぶ。 戸外で思い切り体を動かして遊ぶことを楽しむ。 	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然の変化に気付いたり、草花を遊びに取り入れたりして楽しむ。 繰り返し遊ぶ中で自分なりのやり方を試したり工夫したりする。 身の回りの物に触れたり使ったりして遊ぶ中で、物の性質（重い、軽い、硬い、柔らかい、伸びる、縮むなど）に気付く。 運動会などの行事を通して、様々な国などの旗があることを知り、関心をもつ。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや友達との関わりの中で、自分の思いを動きや言葉で表していく。 保育者や友達に親しみをもって挨拶をしたり、会話を楽しんだりしながらつながりを感じる。 気に入った絵本を保育者に読んでもらったり、自分で見たりする。
	創造	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に伸び伸びと体を動かして踊ったり、自分なりの表現を楽しんだりする。 遊びや行事の中で、身に付ける物や使う物を作り、それを使って遊ぶ。
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中で思いや考えを出し合いながら、友達との関わりを楽しむ。 クラスのみんなどと一緒にルールのある遊びをして、遊ぶ楽しさを味わう。 友達との遊びの中で、思うようにならないことを経験し、相手にも思いや考えがあることに気付く。
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> 年長児と一緒に行事に参加して、親しみや憧れを感じる。 みんなの中で、伸び伸びと自分を出して遊ぶ。（かけっこ、リズム、運動会に向けての活動など） 行事を通して様々な人（職員、他の保護者、地域の人など）と関わり、親しみをもつ。
	規範	<ul style="list-style-type: none"> 集団遊びやゲームを通して、ルールを守って遊ぶ楽しさを味わう。 約束やルールを守ることでもみんなが気持ちよく過ごせることを感じる。
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身の回りの物の始末や、使った物の片付けを自分でしようとする。 生活に必要なことが分かり、自分からやってみようとする。 安全に過ごすための約束やきまりが分かり、守ろうとする。
	運動	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな動きを試しながら、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 用具や遊具の使い方に慣れ、組み合わせで場をつくって遊ぶ。

＜指導例＞

◇ 年長さん、教えて

年長児と一緒に運動遊びを楽しみ、憧れや親しみをもつ。

ほくはこっちがいいのに…

友達との遊びの中で自分の思いを出す、相手が違う思いだと受け入れてもらえないこともある。保育者が仲介となり、双方が思いを言葉で表し相手の思いを聞くことで解決に向かえるように援助する。

＜援助のポイント＞

- 子供同士で思いがぶつかる時は、保育者が双方の思いをくみ取りながら相手の思いに気付けるように仲介していく。その後の手立てと一緒に考え、心を落ち着けたり気持ちを切り替えたりして遊べるようにする。
- 遊びの中で、いろいろな動きを試せるような用具を使ったり、子供が興味をもっているイメージを取り入れたたりして、自然に体を動かして遊ぶ気持ちが高まっていくようにする。

＜家庭との連携＞

- 日頃の遊びを積み重ねることが行事の内容やそこでの子供の姿に生きることを、懇談会やクラスだよりなどで伝える。また、例えば運動会に向けては、勝ち負けやできばえのみにこだわらず、楽しんでいることや自分なりに頑張っている姿を大事にするなど、行事で大切にしたいことを伝え、共通理解を図る。
- 運動会や保育参観など保護者の参加、協力の機会が増えるので、共に子育てをする喜びや保護者同士のつながりを感じられるような内容、方法を工夫する。

4 歳児 IV期（11月～12月）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで遊びの場をつくったり、見たことや感じたことを様々な方法で表現したりして遊ぶことを楽しむ。 ・遊びや生活の中で、クラスの友達とみんなで活動する楽しさを味わう。 ・季節の変化に伴い、生活の仕方が変わることを知る。 	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> ・季節による自然の変化に気付き、木の実や落ち葉など自然物を使って遊ぶことを楽しむ。 ・身近な用具の扱い方が分かり、目的に合わせていろいろな使い方があることを知る。 ・いろいろな材料や素材に触れる中で、数量、物の色、形などに興味をもつ。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達との会話を楽しむ。 ・絵本やお話などを喜んで見たり聞いたりして、イメージを広げる。 ・絵本や歌の中にある面白い言葉に気付き、喜んだり繰り返言ったりする。
	創造	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで歌ったり、簡単なリズム楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。 ・お話の中の人や動物などになりきって遊ぶ。 ・自分のイメージに合わせて材料を選ぶ、組み合わせる、見立てるなどして使う。 ・思ったことを自由に描いたり作ったりすることを楽しみ、見たり飾ったりする。
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に遊びの場をつくり、イメージを出し合いながら遊ぶ。 ・友達の動きに関心をもち、その動きに合わせてたり応じたりして動く楽しさを感じる。 ・簡単なストーリーや遊びの流れの中で、相手と自分の動きが関わり合いながら遊びが進んでいく面白さを感じる。
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との遊びの中で自分の思ったことを言葉や動きに表し、それを相手に受け止めてもらえた喜びを感じる。 ・保育者の言うことを受け止めて、行動しようとする。
	規範	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と生活する中できまりの大切さを感じ、自分なりに守ろうとする。 ・共同の道具や用具を大切に、貸し借りをして使ったり一緒に片付けたりする。
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいの大切さが分かり、自分からすすんで行く。 ・自分の身の回りの物の始末や片付けなどの仕方が分かり、すすんで取り組む。 ・必要に応じて、衣服の調節を自分で行う。
	運動	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に、鬼遊びやしっぽ取りなど簡単なルールのある遊びを楽しむ中で、思い切り体を動かす。 ・いろいろな道具や用具を使って、様々な動きを組み合わせる遊びをする。

<指導例>

◇ いいものができた

様々な素材を使いながら、作る楽しさを味わう。

◇ てぶくろごっこをしよう

好きな遊びの中で簡単な表現遊びを楽しんだり、クラスみんなで誕生会やお楽しみ会で発表する楽しさを感じたりする。

いい音がしたね

クラスみんなでも知っている歌に合わせて楽器遊びをする。自分なりに自由に鳴らしてみたり、簡単な分担奏で友達と音を合わせたりする。

<援助のポイント>

- ・友達と一緒に遊びたい気持ちが強くなってくるので、友達との関わりの中で、相手の気持ちに気付くように、個々の思いを保育者が受け止めながら、言葉で相手に伝えていく。
- ・遊びの中で「こうしたい」という子供の思いを受け止め、イメージや目的に合うような素材や材料と一緒に見付けたり提示したりするなど保育者が積極的に支え、自分たちで遊ぶ楽しさを十分に味わえるようにする。子供が思い付いたことを自分で実現できたと思えるような援助の工夫をする。

<家庭との連携>

- ・個人面談を設定し、日常生活での子供の取組や友達との関わりの中で変容した姿を伝える。成長したことで見えてくる個々のよさや課題を保護者と共有し、一緒に子育てに取り組み、成長を喜び合う関係を築いていく。

4 歳児 V 期（1 月～3 月）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの友達といろいろな活動をする中で、クラスのつながりを感じて遊びや生活を進める。 ・基本的な生活習慣を身に付け、生活や遊びのきまりを守り、進級することへの期待や自信をもつ。 	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然事象や冬から春への自然の変化に関心をもち、感動したり疑問をもったりする。 ・今までにしたことを思い出したり、遊びに取り入れたりする。 ・絵の表示、記号、文字などに興味や関心をもつ。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達の話聞いて内容が分かったり、自分の思いを相手に言葉で伝えたりする。 ・日常生活に必要な言葉が分かり、すすんで使ったり、自分から挨拶をしたりする。 ・絵本や紙芝居などの話の展開を楽しむ。
	創造	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と気持ちを合わせて歌ったり、合奏したりすることを楽しむ。 ・遊びに必要なものを工夫して描いたり作ったりし、それを使って友達と遊ぶ。 ・絵本やお話などのストーリーに沿って、自分のイメージを動きや言葉などで表現して遊ぶ。
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に遊びや仕事を楽しみながら、やり遂げようとする。 (1 日入園での新入園児との関わり、お別れ会の計画、当番活動など) ・クラスのみなどと一緒に活動する中で、満足感を感じたりクラスとしてのつながりを感じたりする。
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の前で自分の思ったことを表現し、受け止めてもらえるうれしさを感じる。 ・行事やクラスの活動の中で力を発揮したことを認められ、満足感や自信をもつ。 ・年長児と交流したり、当番の引き継ぎなどをしたりして、年長児の生活に期待をもつ。
	規範	<ul style="list-style-type: none"> ・よいことと悪いことに自分で気付き、自分なりに考えて行動する。 ・簡単なルールをつくったり、ルールを守ったりして、友達と一緒に遊びを楽しむ。
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることは、自分でする。 ・自分の健康に関心をもち、様々な食べ物をすすんで食べようとする。 ・気持ちよく食事をするために、挨拶や姿勢などのマナーに気を付ける。 ・行事を通して、伝統的な日本の食文化を知る。
	運動	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず、戸外で全身を思い切り動かして友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・自分なりのめあてをもって縄跳びやフープなどに取り組み、積極的に体を動かして遊ぶ。

<指導例>

◇ 年長組のお別れ会をしよう

保育者やクラスの友達と一緒に活動を進める中で、自分の考えを出したり、友達と力を合わせたりする。

◇ 助け鬼をして遊ぼう

チームの友達に助けを求めたり、勇気を出してチームの友達を助けに行ったりして、助け合ううれしさを感じながらルールに沿って遊ぶ。

<援助のポイント>

- ・自分でできたという自信がもてるように、個々に考えたり試したりしている姿を見守り、それぞれの状態に応じて相談に乗ったり、方向性を示したりする。
- ・年長児の生活の仕方を聞いたり、当番活動の引き継ぎをしたりする機会を設け、年長児になることへの期待をもたせていく。

<家庭との連携>

- ・1 年間の子供の成長を振り返り、保護者と共に喜び合う。
- ・子供たちの進級に向けての活動の様子（お別れ会、新入園児との関わり、修了式への取組など）を伝え、保護者も一緒に進級に期待をもてるようにする。

5歳児 I期（4月～5月）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に自分から関わり、いろいろな遊びに取り組む。 ・自分のやりたい遊びをしたり、友達や保育者との関わりを楽しんだりしながらクラスのつながりを感じる。 ・年長児としての自覚をもち、生活の仕方が分かり、すすんで行く。 	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物や自然現象に関心や親しみをもち、考える、試す、自然を取り入れて遊ぶなどする。 ・戸外の自然に接し、その美しさや季節の変化に興味をもつ。 ・イメージに合う材料や用具を選び、場の構成の仕方を工夫して遊びを楽しむ。 ・砂や泥や水などの感触を楽しんだり、特性に気付いて試したりする。 ・様々な行事などを通して、国旗に親しむ。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達に対して、自分の思いや考えを自分なりの言葉で伝えようとする。 ・保育者や友達などに自分から挨拶をする。 ・身近な出来事について、感じたことや不思議に思ったことを言葉で表現する。 ・美しいものや心を動かされる出来事に会い、感じたことやイメージしたことを表現することを楽しむ。
	創造	<ul style="list-style-type: none"> ・体で感じたリズムや自分たちで考えた動きを伸び伸びと表現する。 ・新しい素材や教材を使い、考えたことを自分なりに作ったり描いたりして表現することを楽しむ。 ・友達と一緒に、遊びに必要なものを自分なりに工夫して作ることを楽しむ。
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> ・年長になったことを喜び合い、友達と一緒に遊ぶ楽しさや友達とのつながりを感じる。 ・友達の考えを聞いたり、自分の考えや発見などを話したりして、伝えるうれしさを感じる。 ・うまくいかないことを通して、友達の考えや提案に気付き、受け止めようとする。 ・友達と一緒に最後まで活動する喜びを味わう。
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを伝えたり、相手の話を聞いたりする。 ・年下の子供に対して親しみの気持ちをもって接したり、世話をしたりする中で、年長児としての自覚をもつ。 ・友達の動きや言葉を感じ取りながら行動する。
	規範	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活の中でのきまりの必要性を感じ、保育者や友達と一緒につくる。 ・友達との関わりの中でルールを理解し、守って遊ぶ楽しさを味わう。
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着脱など、自分で気付いて調整する。 ・手洗いやうがいなど、必要に応じて自分から行う。 ・新しい場での生活の仕方や片付け方を知ったり、1日の園生活の流れが分かって行動したりする。
	運動	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで戸外に出て、友達と体を動かして遊ぶ心地よさやルールのある遊びの楽しさを感じる。 ・新しい遊具に関わりながら使い方を理解し、安全に使うとする。

＜指導例＞

- ◇ **年長さんになったよ**
進級の喜びを味わう。

みんなで作ったこいのぼり

一人一人が作ったものを合わせ、クラスで一つの大きなこいのぼりを作る。園庭に飾ることで進級の喜びや年長になった自覚をもてるようにする。

＜援助のポイント＞

- ・年長になり、張り切っている気持ちや、役に立ちたい気持ちを認めることにより、進級した喜びを十分に味わわせ、自信をもって行動できるようにする。

＜家庭との連携＞

- ・進級による喜びや不安に対して、保護者の思いに共感したり励ましたりして、一緒に子供を支えていくようにする。
- ・1年間の指導の概要や小学校との交流などの予定を伝え、年長の1年間に見通しをもって過ごせるようにする。

5歳児 Ⅱ期（6月～9月上旬）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に触れ、自分なりの目的をもち、試したり、考えたりしながら遊ぶ。 ・友達とのつながりを深め、思いを伝えながら遊びを進める。 ・自分なりにめあてをもって、いろいろな遊びに繰り返し取り組む。 	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜や草花の栽培を通して、生長の様子に関心をもち、よく見たり考えたりする。 ・身近な出来事に興味をもち、疑問に思ったことを保育者に聞いたり、調べたりする。 ・身近にあるいろいろな素材や材料の使い方が分かり、遊びに生かそうとする。 ・自分なりに楽しみながら砂や水、いろいろな素材の特性が分かり、利用して遊ぶ。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の伝えたいことを言葉で伝える。 ・経験したこと、感じたこと、考えたことなどをみんなに分かるように言葉で伝えようとする。 ・物語や昔話などいろいろな絵本に親しむ。
	創造	<ul style="list-style-type: none"> ・素材の組み合わせを楽しみ、工夫して使う。 ・いろいろな楽器の使い方が分かり、友達と一緒に音を合わせる楽しさを感じる。 ・クラス全体での歌、手遊び、ダンスなどを通して、声や動きが合うことの心地よさを感じ、表現を楽しむ。
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と十分にに関わり、いろいろな遊びを進める。 ・友達と遊びを進めていく中で、イメージが共通になっていく楽しさを感じる。 ・相手に話を聞いてもらい、思いが受け止められたうれしさを感じる。
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> ・自分とは違う友達の思いや考えを受け入れようとする。 ・分からないことなどを自分から聞いて、解決を図ろうとする。 ・友達に共感したり、自分の気持ちを伝えたりする。 ・小学校との交流を通して小学生と触れ合うことを楽しむ。
	規範	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活のきまりやしてはいけないことの意味や大切さが分かり、自分たちで知らせ合ったり確認したりして守ろうとする。 ・友達と簡単な遊びのルールを確認したり、伝え合ったりして、ルールを意識して遊びを進めようとする。 ・危険なことを自分で判断し、遊んだり生活したりしようとする。
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの使った遊具や保育室をきれいにしたり、共有の場をみんなで片付けたりする。 ・汗を拭く、衣服の調整、手洗い、うがいなどを、自分で気付いて行う。 ・1日の園生活に見通しをもち、状況を受け止めて自分なりに動こうとする。 ・栽培している植物の収穫を喜び、友達と一緒に何でも食べてみようとする。
	運動	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動に興味をもち、様々な体の動きを楽しむ。 ・水遊び、プール遊びなど季節ならではの遊びを通して、思い切り活動する充実感を味わう。 ・遊具や用具など安全に気を付けて遊ぶ。

<指導例>

◇ 野菜を育てよう

- ・世話をしながら生長の変化に気付く。
- ・野菜を収穫し、一緒に食べることを喜ぶ。

船を作ろう

水に浮くもの（スチレン皿、カップ類など）を選んだり、船を進ませるための動力（ゴム、息を吹く、風船など）を工夫したりして、動く船作りを楽しむ。

<援助のポイント>

- ・子供たちが自分たちで考え、やってみたいと思えるような場を多く設定し、その中で自分の力を十分発揮できるように見守る。
- ・子供同士の意見のぶつかり合いや葛藤を通して、相手の思いを理解し、子供が自分で乗り越えられるように励ましたり見守ったりして気持ちを支えていく。

<家庭との連携>

- ・自分の力で生活を進められるように、園と家庭が共に励ましの言葉を掛けるなどして、温かく見守っていく。
- ・子供同士の間で起こった出来事については丁寧に伝え、友達との関わりの中で経験していることや、そこで育つことについて理解し合い、見守っていく。

5歳児 Ⅲ期（9月中旬～10月）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな活動を通して、すすんで物事に取り組む楽しさや達成感を味わう。 ・みんなでする活動を楽しみながら、友達よさに気づき、様々な友達への親しみを広げる。 ・自分の目的に向かって力を出すことの心地よさを感じ、十分に体を動かして遊ぶ。 	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに必要な物の数、人数、適当な大きさ、長さ、バランスを考えて活動する。 ・遊びに使う簡単な標識や文字、数字に興味をもったり読んだりする。 ・遊びの中で数を数える、量を比べる、いろいろな図形に関心をもつなどする。 ・用途に合った素材を選んで使い、遊びに生かす。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験したことを話したり、友達の話の聞いたりする。 ・経験したこと、感じたこと、考えたことなどをみんなに分かる言葉で伝える。 ・話の内容を理解し、言葉の使い方、楽しさ、心地よさに気付く。 ・物語や話の続きに興味をもち、クラスの友達と楽しんで聞く。
	創造	<ul style="list-style-type: none"> ・動きや体を意識した表現を楽しむ。 ・経験したこと、感じたこと、考えたこと、イメージしたことなどを、様々な方法で自分なりに表現する。
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と話し合いながら、自分たちで遊びを進めていく。 ・クラスや同年齢の友達、保育者と一緒に、目的に向かって役割を感じながら活動を進め、気持ちを合わせる心地よさややり遂げた満足感を味わう。
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと相手の考えの違いに気づき、受け入れようとする。 ・自分の力を発揮し、友達よさに気付いたり認めたりしながら遊ぶ。 ・自分の身近な人（高齢者、年下の子供、地域の人など）との関わりを通して、相手を思う気持ちをもつ。
	規範	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール必要性や危険なことについて分かり、意識して行動する。 ・自分の行動の結果を、自分なりに考える。
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・所持品の整理や片付けをすすんで行う。 ・健康な生活、食事の大切さなどを知り、自分の体への関心をもつ。 ・1日の園生活の流れを予測したり、見通ししたりして状況に応じて行動する。
	運動	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動遊びにすすんで取り組み、体を十分に動かして遊ぶ心地よさを味わう。 ・遊びのルールを確かめたり工夫したりして、友達と一緒に集団での遊びを楽しむ。 ・ルールのある遊びを通し、チームで競い合うことを繰り返し楽しむ。

<指導例>

◇ 絵本って、楽しいね

本の読み聞かせを通して、お話や文字に興味をもつ。

◇ みんなでつくる運動会

運動会を自分たちで考え、進めていく気持ちをもつ。

割りピン人形を作ろう

体を動かして遊ぶことを楽しんでいる姿を生かし、関節部分に割りピンを使って体の動きを再現できるような人形を作る。運動会の場面を再現した壁面構成などを考え、人形の動きが生かされる掲示の仕方を工夫する。

<援助のポイント>

- ・いろいろな活動の中で、子供の挑戦しようとする気持ちを受け止め、目的が明確にもてるようにする。それぞれの頑張る姿をクラスの子供に知らせ、よさに気付かせるとともに、みんなで喜び合う気持ちを高めていく。
- ・友達との関わりの中で互いの思いを理解できるように、相手の言葉や表情、行動に自分から関心を向けられるようにする。

<家庭との連携>

- ・クラスだよりや保護者会などを通して、目的に向かって自分の力を発揮して取り組んでいく過程を伝え、日々の保育や行事などの様子から、子供の成長を理解し喜びを感じてもらえるようにする。
- ・体を動かすことで様々な意欲が引き出されることを伝え、子供の伸びようとする力を園と家庭の両方で生かしていく。

5歳児 IV期（11～12月）

ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然や事象を見たり触れたりしながら、好奇心や探究心を深める。 共通の目的に向かって、工夫や協力、分担などをしながら遊びに取り組み、達成感を味わう。 チームで競い合う楽しさを味わいながら、十分に体を動かして遊ぶ。
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> 遊びに応じて、必要な表示を考えたり文字や数字を積極的に取り入れたりする。 今までに経験した遊び方や遊具、素材などを遊びに取り入れる。 友達の意見や考えに刺激を受け、自分なりに考えようとする。 季節の変化に関心を持ち、遊びに取り入れたい調べたりする。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> 理由を添えたり新しい提案をしたりして、自分の考えを分かってもらえるように話す。 友達の話の内容を理解しようと、関心をもって聞く。 生活の場に応じた言葉の使い方や表現の仕方が分かる。
	創造	<ul style="list-style-type: none"> 自分が表現したいことを材料や方法を選び、工夫して作ることを楽しむ。 絵本や物語に親しみを持ち、想像を豊かにして表現する楽しさを味わう。
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> グループの友達と共通の目的に向けて遊ぶ中で、一緒に進めていく楽しさや、やり遂げた満足感を味わう。 友達と考えを出し合って工夫することで、遊びがより面白くなることを十分に味わう。
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと相手の考えの違いに気付き、折り合いを付けて進めようとする。 友達の中で、自分の力を発揮していく。 友達のよさに気付いたり認めたりしながら、遊びを楽しむ。 相手の立場に立って、考えたり行動したりしようとする。
	規範	<ul style="list-style-type: none"> よいことや悪いことを自分で考えて行動する。 活動に合わせてルールを考えたり変えたりしながら、それを守って進める。 その時にすべきことが分かり、自分から行動する。
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> 所持品の整理や片付けをすすんで行く。 共同のものの片付けの必要性を感じ、自分から片付けようとする。 1日の園生活の流れに見通しを持ち、友達と声を掛け合って行動する。 健康な生活や病気の予防に関心を持ち、意識して行動する。 交通ルールや公共のマナーを知り、気を付けて行動する。
	運動	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな運動遊びをすすんで取り組み、体を十分に動かして遊ぶ楽しさを味わう。 遊具や用具、遊びに使う場所など安全に気を付けて遊ぶ。

＜指導例＞

◇ 投げごまを回そう

めあてをもって、繰り返しあきらめずに取り組む。

小学校に行って1年生と一緒に秋遊びをしよう

小学校の教育活動に参加して「ひと・もの・こと」に慣れ、親しむ。

(就学前教育プログラムP.18、19「1年生と一緒に秋遊びをしよう」参照)

＜援助のポイント＞

- グループでの取組の中で一人一人が十分に自己を発揮し、互いのよさや考えに触れて協同して遊べるような機会を意図的に設定する。
- 少し難しいことに向き合い、友達と一緒に工夫して乗り越えていく機会を意図的につくり、達成感を重ねられるようにする。
- 思いや考えの違いに気付き、グループの友達と折り合いを付けながら遊びを進めていくことができるように援助していく。

＜家庭との連携＞

- グループの友達との活動を通して協同性が育まれ、小学校での生活や学習の基礎になることを伝えるとともに、自分の子供やクラスへの理解が深まるようにする。
- 就学に向けて生活習慣などを園と家庭で見直していく機会をつくり、家庭でも意識をもって生活してもらえるようにする。

5歳児 V期（1月～3月）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや考えを様々な方法で表現し、いろいろな活動に楽しんで取り組む。 ・友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで遊びや生活を進め、充実感を味わう。 ・自分の体に関心を持ち、心身の成長を喜び合い、就学への期待をもつ。 	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物や自然現象に関心を持ち、考えたり試したりして自然を取り入れて遊ぶ。 ・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりして遊びに取り入れる。 ・日常生活に必要な文字や数字、標識などに興味や関心を持ち、遊びの中ですすんで使う。 ・小学校での授業の体験などを通して、入学への期待をもつ。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・見る、聞く、感じる、考えるなどの経験を、自分なりの言葉で十分に表現する。 ・誰とでもすすんで挨拶を交わしたり、お礼の気持ちを言葉で伝えたりする。 ・話している人に気持ちを向け、自分の経験と重ね合わせながら、関心をもって話を聞く。
	創造	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の様々なものに自分から関わり、いろいろな方法で伸び伸びと表現することを楽しむ。 ・みんなで気持ちを合わせ、歌や踊り、劇や楽器の演奏などをする。 ・友達と一緒に共通の目的を持ち、遊びの場や必要なものを作ったり描いたりする。
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスや学年の友達とみんなでする楽しさが分かり、友達との連帯感を感じながら自分の力を発揮する。 ・自分たちで遊びや生活を進める充実感を味わう。 ・共通の目的や課題に向かって、友達と一緒に力を合わせてやり遂げる喜びを味わう。
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じたことや考えたことを友達に分かるように伝え、友達の話を聞いて受け止める。 ・友達の得意な面やよさに気付き、生かし合って遊ぶとする。 ・小学校との交流などを通して小学生と触れ合い、小学校を身近に感じる。 ・自分のことを認めてもらう経験を通して、自信をもって行動する。
	規範	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで考えたルールを守って友達と一緒に遊ぶ。 ・今は何をすべきかを自分なりに判断し、状況に応じた行動をしようとする。
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整理や片付けの必要性が分かり、協力してすすんで行く。 ・時間を意識しながら生活に見通しを持ち、場や状況に応じた行動をとる。 ・交通ルールが分かり、守って行動する。 ・行事や経験を通して、伝統的な日本の食文化に関心をもつ。
	運動	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と積極的に体を動かす運動に取り組み、競い合う楽しさや、ルールをつくってみんなで遊ぶ充実感を味わう。 ・運動用具の使い方が分かり、活用したり工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう。 ・危険な遊び方や場所に気付き、自分で判断して安全に行動しようとする。

<指導例>

◇ 集まってドッジボールをしよう

様々な友達の中で、自分の力を発揮して遊ぶ充実感を味わう。

◇ 友達と一緒に、劇をつくっていいこう

同じ目的に向かって友達と相談したり、力を合わせたりしながら活動に取り組む。

小学生と一緒に作品作りをしよう

小学生と協力して作品作りを行うことを通じて一緒に表現することを楽しむ。
(就学前教育プログラム P.22, 23「みんなで力を合わせて“なかよしタワー”の飾り付けをしよう」参照)

<援助のポイント>

- ・友達と互いのよさを生かし合いながら、試したり、発見したり、考えたりする楽しさを味わい、自分たちで取り組んだ充実感を十分に味わえるようにする。
- ・生活の中で十分に自己発揮をしている姿を認め自信につながるように関わる。
- ・様々な友達と関わる中で、それぞれが成長したことを認め合い、自信がもてるようにする。
- ・就学に向けて期待が膨らむ思いを十分に受け止め、小学校入学への期待感をもてるようにする。

<家庭との連携>

- ・保護者会などで、小学校の生活や学習について具体的に伝える機会をもち、入学に向けて不安や疑問を解消できるようにする。
- ・具体的な場面を通して子供の成長を喜び合い、入学への期待につなげていく。